

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和4年1月21日（金）午後1時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目1：一般の高齢者は1月25日に前倒し、64歳以下は新たに設定
新型コロナワクチンの追加接種を加速化します】

（市長）

オミクロン株の急拡大に伴い、国がワクチン追加接種を前倒しする方針を明らかにしました。これを受けて長岡市は、長岡市医師会や医療機関等と協力して、高齢者の接種機会を前倒したいと考えています。

高齢者施設での接種は既に前倒して実施していますが、2月以降の開始を予定していた個別接種について、1月25日以降準備の整った医療機関から順次開始します。そして、3月中旬から開始予定だった集団接種も2月6日以降約1万人分の前倒し接種が可能な日程を設定します。引き続き関係機関と連携しながら、接種体制の強化に努めていきたいと考えております。

追加する集団接種の日程及び会場は、2月6日の長岡赤十字病院から3月13日のハイブ長岡まで9日間合計10,100人分の日程を設けました。ただ、雪が多い時期でもありますので、悪天候が見込まれる場合は安全を第一に接種を中止や延期することもあります。

対象者は、市が集団接種の日程を設定した高齢者35,524人です。このうち、1月31日までに接種券を発送する16,522人の方は、2月中の5日間の日程の約4,500人分の予約を2月4日から受け付けます。次に2月21日までに接種券を発送する19,002人の方については、3月中の4日間の日程の5,600人分の予約を2月28日から受け付けます。

前倒し日程での接種予約は、市ホームページ、市公式ライン、コールセンターで受け付けます。希望される方は、ご本人で手続きいただく必要がございますので、詳細は1月下旬以降、対象者にお知らせをお送りします。

市が指定した集団接種日程で都合が悪いという方は、お知らせハガキに付いている変更希望票を提出いただき、予備日程の中から市が再調整することとしています。

これに加えて、より多くの選択肢から、それぞれのご都合に合わせた会場・日程を選んでいただけるよう、予備日程以外に空いている日程も開放して、接種者ご本人が予約を変更できるようにします。

なお、1・2回目を個別接種で受けた方については、接種券が届き次第、原則1回目と同じ医療機関に予約の上、1月下旬以降、順次接種を受けることができます。

次に、18歳以上64歳以下の方の追加接種についてです。基本的な進め方としては、接種を希望する方は接種券が届いたら、個別接種、集団接種又は職域接種で3回目の接種を受けることができます。64歳以下への接種日程の割り付けはいたしませんので、ご自身で予約していただ

く必要があります。

個別接種を希望する場合は、接種券が届き次第、個別接種を実施する医療機関に予約の上、追加接種を受けていただきます。個別接種を実施する医療機関や予約方法等は、接種券にお知らせを同封します。

集団接種を希望する場合は、接種券が届き次第、市のホームページ、市公式ライン又はコールセンターで各自で予約していただき、3回目の追加接種を受けていただきます。なお、高齢者が前倒し接種を行うことで生ずる集団接種の空き枠を64歳以下の方に開放して、追加接種を前倒しでできるようにします。

職域接種については、接種券を発送する際に、追加接種を職域接種会場で受けられる方は勤務先等に接種方法を確認の上、接種していただくようご案内します。

最後に、前倒し分の集団接種について、2月6日の長岡赤十字病院で、当日取材をお受けしたいと思いますので、事前にお申し込みいただきますようお願いいたします。

【会見項目2：「まん延防止等重点措置」に伴う飲食店支援 時短要請の協力金を支給します】

(市長)

まん延防止等重点措置の適用に伴い、1月21日から2月3日までの24日間、営業時間の短縮等、感染防止対策等に協力していただく飲食店へ協力金を支給します。1店舗当たりの協力金は60万円から最大480万円となります。事業規模は、事務費も含めて15億3,057万4千円で、本日付けで予算の専決処分させていただきます。財源は全額、県からの補助金となります。

今回の時短要請はこれまでと異なり、酒類の提供に関係なく、食品衛生法上の飲食店営業許可を受けている全ての飲食店が対象となります。原則午後8時までの時短営業と酒類の提供禁止、飲食される方の人数制限が行われます。参考資料のとおり本日より飲食店の皆様に、時短要請への協力を呼びかけるとともに、市の職員が協力状況の確認のために見回りを行います。

【会見項目3：人づくりと産業振興の拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」 ロゴタイプ・シンボルマークが決定】

(市長)

「米百俵プレイス ミライエ長岡」のロゴタイプ、シンボルマークが決定しましたので発表します。

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）が施行者となり、現在、建築工事が進んでいるところです。今後、今回決定したロゴタイプとシンボルマークを、施設のサインや各種プロモーションに活用していきたいと思っております。

これがロゴタイプとシンボルマークです。

(ロゴタイプ、シンボルマークのパネル掲示)

制作をお願いしたのは市街地再開発事業の全体のサイン計画を担当したグラフィックデザイナーの廣村正彰さん（「廣」の字は「广」と「黄」）でありまして、プロフィールは資料にあるとおりです。全国に多くの著名な実績をお持ちの方で、東京2020スポーツピクトグラムの開発にも携わった方です。

廣村さんからコメントをいただいておりますので紹介いたします。

- ・6つの三角形は、長岡の学び・歴史・文化・産業・未来・交流を表しています。三角のピースを組み合わせ、「ミライエ長岡」の頭文字「M」をシンボルにしました。
- ・「米百俵プレイス ミライエ長岡」が、地域の人たちから日常的に利用されることはもちろん、年齢、地域、国を問わず人々が交流、協力し、アイデアや夢が実現できる施設になることを期待しています。

このコメントのとおり、ここには市民の皆様をはじめ、学生、経営者、若者、高齢者など多くの方々が集まり交流して、楽しみやイノベーションの様々なアイデアが生まれる施設にしていきたいと考えています。ぜひこのロゴタイプとシンボルマークを活用して、その機運を醸成していきたいと思っています。

決定までの経緯ですが、有識者からなる人づくり・学び・交流エリア名称選定委員会で、廣村デザイン事務所が考案した三つの案について協議した結果、満場一致でこの案が選考されました。その委員会での議論を踏まえ、市として最終決定したものです。

委員からは「色の明るさ、デザインの展開性、「人を育てる」という未来に向けたシンボルとして良い。」などのご意見をいただいております。

【同時リリース：祝 冬季北京五輪出場決定！】

星野選手・古野選手の応援横断幕を掲示！

（市長）

長岡市出身の星野純子さん、古野慧さんがこのたびの北京オリンピックに出場されることになりました。両選手のオリンピック出場を本当にうれしく思います。本当に厳しいトレーニング、そして日頃積み重ねてきた努力がこうして実ったことを心からお祝い申し上げます。オリンピックのハレの場で力を存分に発揮して、長岡市民、そして新潟県民、国民に大きな力を与えていただきたいと思います。

長岡市としても、市民の皆さんとともにお二人の挑戦を引き続き応援していきます。

【質疑応答】

（記者）

1月の中旬の段階では、ワクチン供給の見通しが立たないということで、前倒しができるかどうかわからない状況だったと思いますが、その後どういう経緯で供給のめどが立ってきたのかご説明ください。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

先週の金曜日までに都道府県分の4月までのワクチン供給量が決まり、今週に入り県が市町村分を割り振りました。このため、4月分の供給が明らかになりましたので、今回のようなかたちで前倒し分を設定できたということです。それまでは、3月分までの供給量が示されている中で接種計画を検討していました。

(記者)

改めて3回目接種を受ける意味合いと、市民への呼びかけをお願いします。

(市長)

今回のまん延防止等重点措置の適用の目的は医療逼迫を防ぐことです。高齢者や基礎疾患のある方などが重症化すると医療の崩壊に近づくという指摘があります。病床使用率を上げないために、重症化リスクのある方にはぜひ前倒しで接種していただきたいと思います。

(記者)

5歳から11歳までの接種を国が承認しましたが、長岡市としての対応をお聞かせください。

(市長)

まだ国の方針が示されたばかりなので、今後、長岡市医師会等と協議しながら、検討していきたいと思います。

(記者)

在宅療養者が全国的に増えている中で、長岡市として在宅療養者の把握や対応の状況、今後の見込みをお聞かせください。

(市長)

基本的には県が在宅療養者を把握して、長岡市として必要な食料等をお届けしています。今後どの程度感染者が増えるかによっては、相応の体制を整える必要があると思います。

(記者)

3回目接種と2回目との接種間隔についてお聞かせください。

(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)

医療従事者や高齢者施設等に入所されている方、従事されている方は6カ月です。65歳以上の高齢者の方は、2月までに接種する方は7カ月、3月以降接種する方は6カ月です。18歳から64歳の方は、2月までに接種する方は8カ月、3月以降接種する方は7カ月です。

(記者)

まん延防止等重点措置の適用開始にあたっての市民への呼びかけをお聞かせください。

(市長)

今回のまん延防止等重点措置の趣旨は全県的に医療逼迫を防止することですので、高齢者や基礎疾患のある方は積極的に前倒し接種を検討していただきたいと思います。また、小中学校や保育施設での感染も多くなっていますが、まずは大人が家庭内に持ち込まないように注意してほしいと思います。

(記者)

ミライエ長岡のシンボルマークについて、市長の感想をお聞かせください。

(市長)

この施設の機能やねらいは、年代、性別、国籍などを問わず多様な方々がここに集まり、交流して、そこから新しいものが生まれるというものですので、その多様性を表現したとても良いシンボルマークだと思っています。

(記者)

北京オリンピックに出場する星野選手、古野選手それぞれにコメントをお願いします。

(市長)

星野選手には今までの経験と実力を遺憾なく良い成績を上げていただきたいと思います。古野選手はナガオカワーカーの第1期生でもあり、未来を創る長岡の若者の象徴としても、ぜひ実力を発揮していただきたいと思います。

(記者)

昨年末に市職員がわいせつ関連の事案で逮捕されたことを受けて、市長の認識をお聞かせください。

(市長)

誠に遺憾であり、市民の皆様に対して大変申し訳なく思います。コンプライアンスに力を入れて取り組んできた中でこのような事案が起きたことは、深く反省しなければならないと思います。組織の内部にこうしたものを生み出す要因がないのか検証しながら、再発防止に取り組んでいきたいと思っています。